

日本化学療法学会／ファイザー 公募型医学教育プロジェクト助成 薬剤耐性 (AMR) マネジメント推進の ための教育

外部有識者審査プロセス

本公募の概略

本公募は、日本の薬剤耐性 (AMR: Antimicrobial Resistance) 対策を推進することを目的として、薬剤耐性 (AMR) の普及啓発、診断、治療における教育プロジェクトを支援します。

対象国

日本

対象疾患 / 目的

対象疾患:

感染症 (AMR: Antimicrobial Resistance)

目的:

薬剤耐性 (AMR) の出現と蔓延は世界的に深刻な健康上の問題です。今般、日本の更なる薬剤耐性 (AMR) 対策の推進にあたって、今後 5 年間で実施すべき事項をまとめた新たな「薬剤耐性 (AMR) 対策アクションプラン (2023-2027)」が公表されました^{#1}。

日本の薬剤耐性 (AMR) の認知度は高い水準にあるとは言えず、また薬剤耐性の出現と蔓延を抑制する適切な診断と治療の実践には課題があります。

本公募では、これらの課題を解決するための「教育」を目的とした教育プロジェクトを支援します。

締切日等 スケジュール

- 公募締切日: 2023 年 7 月 25 日
- 一次審査結果通知: 9 月
- 助成金を使用したプロジェクトの開始日: 2024 年 1 月 1 日

助成額 / プロジェクトの実行期間

- プロジェクト1件あたりの助成上限額 : 2,500,000 円
- 2024 年 1 月 1 日 - 2025 年 12 月 31 日 (最長 2 年間)

I. 応募資格

対象国:

- 日本

申請団体要件:

以下の施設・団体に所属し、その所属施設・団体として申請してください。個人として申請することはできません。

- 大学、大学病院、地域中核病院、その他医療系の教育機関
- 医療系の学会・研究会等
- 医療系の財団法人・NPO 法人等(疾患領域に関する活動を行っている法人、患者会、患者支援団体など)
- 医師会・薬剤師会・歯科医師会

他施設／他団体と連携したプロジェクトの場合、すべての施設・団体が意味のある役割を果たし、その中でも申請する施設・団体が最も重要な役割を果たすこととします。

応募の際には、各所属施設・団体からの了解を得てください。

II. 公募詳細

公募開始日:

- 2023年5月10日

公募対象疾患:

- 感染症 (AMR: Antimicrobial Resistance)

本公募の目的:

薬剤耐性 (AMR) の出現と蔓延は世界的に深刻な健康上の問題です。今般、日本の更なる薬剤耐性 (AMR) 対策の推進にあたって、今後 5 年間で実施すべき事項をまとめた新たな「薬剤耐性 (AMR) 対策アクションプラン (2023-2027)」が公表されました^{#1}。

日本の薬剤耐性 (AMR) の認知度は高い水準にあるとは言えず、また薬剤耐性の出現と蔓延を抑制する適切な診断と治療の実践には課題があります。

本公募では、これらの課題を解決するための「教育」を目的とした教育プロジェクトを支援します。

注意事項: 臨床試験(介入／非介入)、非臨床試験、疫学研究、レジストリー構築等の研究を含むプロジェクトは本公募の対象外です。また COI の観点より、診療ガイドラインやガイダンス等の作成が含まれるプロジェクトも助成対象外とします。

教育プロジェクトの対象者(受講者):

- 医師、薬剤師、微生物検査技師、看護師、薬剤耐性対策に従事する医療関係者

本公募の助成額:

- プロジェクト1件あたりの助成上限額 2,500,000 円

スケジュール:

- 公募開始日:2023年5月10日
- 申請締切日:2023年7月25日(アメリカ東部時間)
- 審査結果通知:2023年9月

- 助成金はファイザー株式会社との教育助成契約締結後に支払われます。
- 助成金を使用したプロジェクトの実行:2024年1月1日~2025年12月31日(最長2年間)

申請方法:

- 申請はオンラインにて、ファイザー米国本社の申請システムよりお願いします。
<https://www.cybergrants.com/>
- 初めて申請をされる方は、まず“Create your password”をクリックし、アカウント登録を完了してください。
- 申請に際しては、こちらの [申請の手引き](#) をご参照ください。
 - “Are you replying to a Request for Proposal as part of the Competitive Grant Program?” の質問には **必ず Yes** を選択してください。
 - Competitive Grant Program Name の選択では、“2023 HOS JP: Education to Improve AMR Management”を選択してください。
 - Primary Area of Interest の選択では“Antimicrobial Stewardship”を選択してください。
- 申請に必要な情報を申請システムに英語で入力し、Page 5 の「プロジェクト申請書様式」を参照の上、プロジェクト申請書(Letter of Request/Agenda/Project Description)を作成しシステム内にアップロードしてください。
プロジェクト申請書(Letter Of Request/Agenda/Project Description)のみ日本語での記載が可能です。
- **注意事項:** 申請タイプを間違えて提出がなされた場合、または締め切り後に提出された場合は、その理由如何によらず、受領できないことを予めご了承ください。

お問い合わせ:

- ファイザー MEG-J事務局
meg.japan@pfizer.com
- お問い合わせの際、件名に、今回の公募タイトル「薬剤耐性(AMR)マネジメント推進のための教育」をご記載ください。

助成契約:

- 助成金が承認された場合、ファイザーと書面による助成金契約を結ぶ必要があります。契約の主要な条件を表示するには、[こちら](#) をクリックしてください。
- ファイザーはバランスが取れ、合理的であるように、且つファイザー/申請団体両者の目的を推進するために、これらの契約条件を定めました。助成金契約の手続きには多くのリソースが必要となります。そのため、申請を進める前に、所属施設・団体(法務部門を含む)がこれらの条件を順守できることを確認してください。

審査:

- 本公募により受け付けた助成申請は、外部審査委員会によって最終的な助成の決定が下されます。
- 外部審査委員会は、日本化学療法学会が選定する感染症領域の専門家を中心として構成されます。
- 審査の過程で、審査員からヒアリングをする場合があります。

その他注意事項:

- ご申請後の連絡(採択結果含む)はメールにて行います。
- レビューに必要な追加情報・資料の提出などを依頼することがありますので、予めご了承ください。
- 助成プロジェクト開始後、半年に1度、進捗を報告頂きます(中間報告)。また、プロジェクト終了後、最終報告を提出していただきます。
- 助成契約締結後、止むを得ない事情により、申請内容(プラン、スケジュール、助成金使途、プロジェクトメンバーなど)に変更が生じた場合は、必ずご連絡ください。
- 採択施設(団体)はプロジェクトの概要・成果を来年以降に開催される日本化学療法学会学術集会で発表して頂きます。

リファレンス

- #1: 薬剤耐性(AMR)対策アクションプラン 2023-2027
<https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/infection/activities/amr.html>

日本化学療法学会 及び ファイザー Global Medical Grants について

公益社団法人日本化学療法学会は、革新的な教育および変革戦略を実行するため、ファイザーと提携契約を締結しました。

日本化学療法学会は学療法学に係る学理及びその応用に関連する事業を行うことにより、化学療法学の進歩、普及を図り、もって本邦における医療の発展、ひいては国民の健康増進に寄与することを目的としています。

ファイザー Global Medical Grants(GMG)は、医療関連団体自らが立案・実行するプロジェクト(ファイザーが注力する疾患領域における、患者さんのアウトカムを改善・向上させるための研究、医療の質を改善するプロジェクト、教育プロジェクト)を支援します。

ファイザー GMG の公募型医学教育プロジェクト助成では、公募要項(RFP)を弊社 Web サイトに公開しています。公募要項には、公募の目的・締切日等のスケジュール・最終的な助成決定がファイザー社内で行われる点などの詳細が記載されています。申請団体は、各 RFP に記載されている“ナレッジギャップ”を埋めることができるような教育プロジェクトの立案をしてください。

教育プロジェクトの立案・実行は、申請団体の責任のもとに行い、ファイザーがそれらに関与することは一切ありません。

プロジェクト申請書様式

表紙にはプロジェクトタイトル、作成日及びバージョンを記載してください。本申請書は、日本語での記載が可能です。

プロジェクトの背景・目的

- プロジェクトの背景・目的を簡単に記載してください。
- 学習および期待される成果の観点から、プロジェクトで達成する予定の目的を列挙してください。

プロジェクトのニーズ評価

- プロジェクトを実行する必要性を、現在の状況(プロジェクト対象者のレベルなど)をふまえ、記載してください。(定量的データがあれば望ましい)

プロジェクト対象者(受講者)

- プロジェクトの主な対象者(受講者)を記載してください。
- 対象者の数を記載してください。

プロジェクトプラン・スケジュール

- プロジェクトの具体的な実施方法や、マイルストーンをどのように設定しているのか記載してください。
- プロジェクトの詳細なスケジュールを記載してください。(表形式が望ましい)

プロジェクトの評価・結果の測定

- ナレッジギャップが解消されたかどうか、プロジェクトの評価を測定する指標を用い、どのように判定するのか、以下の項目を含め、記載してください。
 - 判定に使用するデータソース
 - データの収集・分析方法
 - 評価結果とプロジェクトとの因果関係を判断する方法
- プロジェクトの予想成果を“対象者”の観点から定量化してください。(例:ベースラインから10%上昇する)

プロジェクトの画期性

- 応募プロジェクトの画期性について、他のプロジェクトや応募プロジェクトに先駆けて実施した(もしくは進行中の)プロジェクトがあれば、それらと比較して記載してください。

プロジェクト終了後の展開

- プロジェクト終了後、成果・結果をどのように展開していくか、どのように教育を継続させていくことを考えているか記載してください。

その他、プロジェクトに関する追加情報

- その他、上記以外の情報があれば、記載してください。

次頁へ続く

申請団体・プロジェクトメンバー

- 申請団体についての詳細を記載してください。
- プロジェクトメンバーを記載してください。
- 応募プロジェクトでパートナーとなる団体(施設)がある場合は、その団体(施設)名称を記載し、その団体(施設)の役割を明確にしてください。

予算明細

- プロジェクト実行に必要な費用のみ計上可能です。費用の明細を記載ください。(表形式が望ましい)
例えば、以下のような弊社からの助成金を使用するプロジェクト実行費用の明細を記載ください。

<予算>

- 教育プログラム開催準備費
- 人件費(講師等の招待者への謝礼・交通宿泊費等、その他人件費)
- 会場費
- 機材関係費
- 設営関係費
- 教育資材やホームページ等の制作物費、印刷、編集関連費
- 通信運搬費
- その他経費

ただし、弊社からの助成金は以下費目には使用できません。

- 個人費用(懇親会費などの飲食費用、プロジェクト対象者の参加費・交通宿泊費など)
 - プロジェクト終了後に申請団体の資産となりえるもの(パソコン、ソフトウェア、カメラ、医療機器など)、医薬品、テキスト・教科書の購入
 - プロジェクトメンバーの人件費(給与・謝礼)
 - プロジェクトメンバーが知識習得のために参加する学会等への参加費・交通宿泊費
- 施設へのオーバーヘッド(間接費用)は、プロジェクト費用の28%を上限に計上することができます。ただし、間接費用を計上される場合でも、本公募で定めたプロジェクト1件あたりの上限額を超えることはできません。
 - 消費税込で記載してください。